

「和歌山市次世代育成支援行動計画(後期)に関するアンケート」集計結果

- 調査期間 平成24年8月1日～平成24年8月15日

- 調査の趣旨 和歌山市では、家庭と地域の人々の温かいまなざしと支えの中で、子どもたちの成長していく輝きが、世代を超えてすべての市民を結び、明るい未来を描けるまちを目指して、平成22年3月に「和歌山市次世代育成支援行動計画(後期)」を策定し、推進しています。

- 対象者数 245 (H24.8.1現在登録者数)

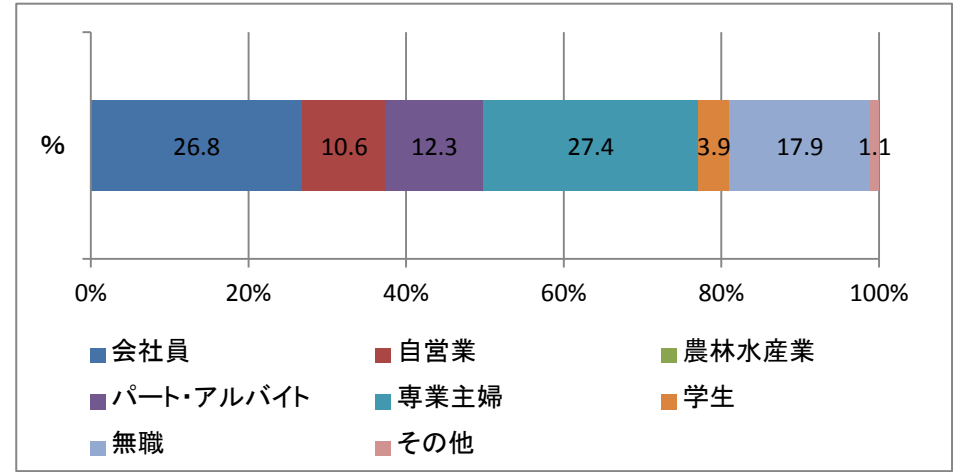
- 回答者数 179

- 回答率 73.1 % (H24.8.15時点)

【職業】

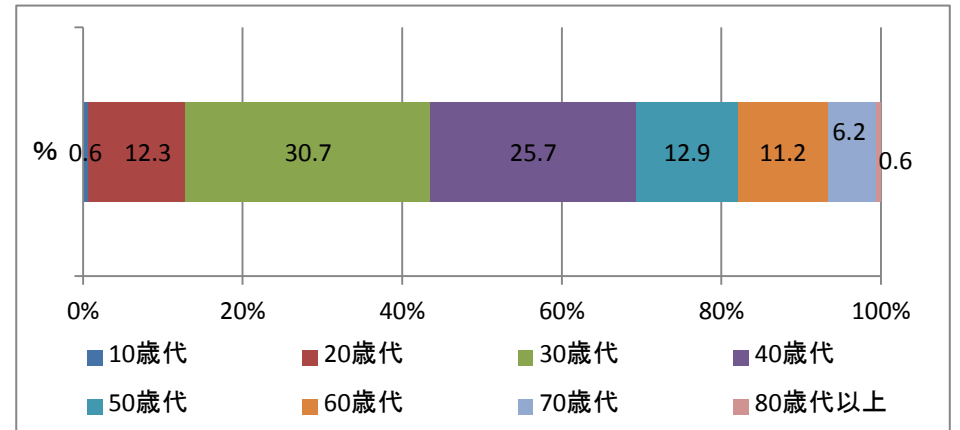
回答	回答数	%
会社員	48	26.8
自営業	19	10.6
農林水産業	0	0.0
パート・アルバイト	22	12.3
専業主婦	49	27.4
学生	7	3.9
無職	32	17.9
その他	2	1.1
合計	179	100.0

フリーランス
大学教員



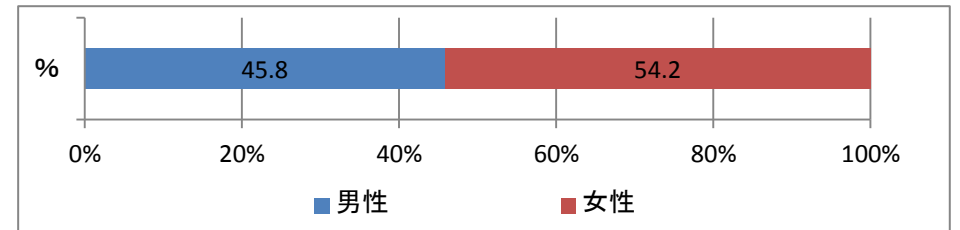
【年齢】

回答	回答数	%
10歳代	1	0.6
20歳代	22	12.3
30歳代	55	30.7
40歳代	46	25.7
50歳代	23	12.9
60歳代	20	11.2
70歳代	11	6.2
80歳代以上	1	0.6
合計	179	100.0



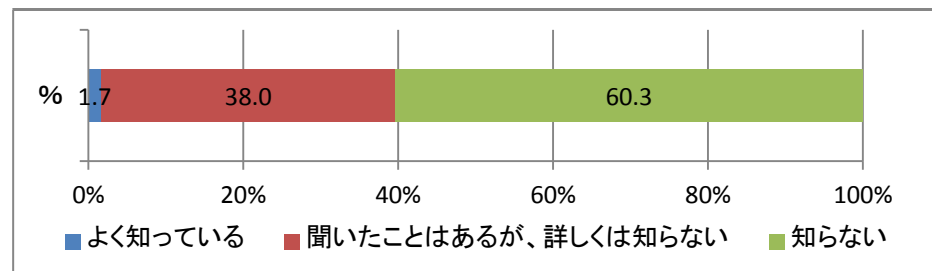
【性別】

回答	回答数	%
男性	82	45.8
女性	97	54.2
合計	179	100.0



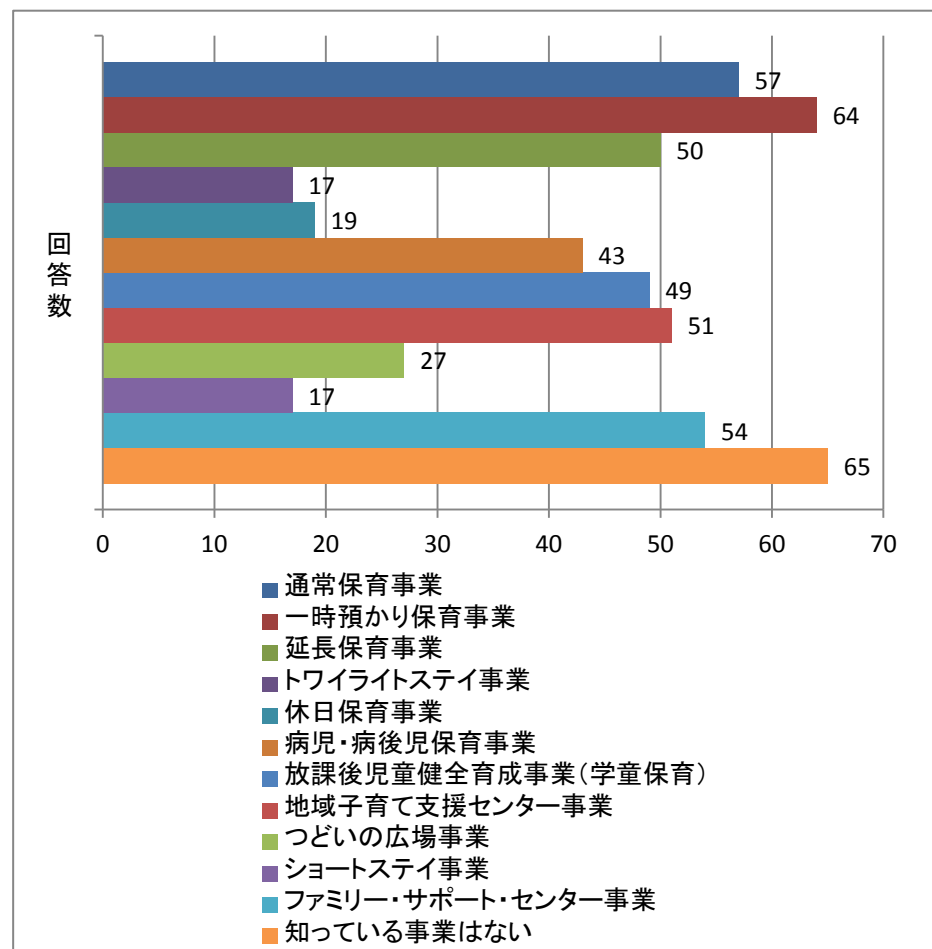
問1 あなたは和歌山市次世代育成支援行動計画を知っていますか。

回答	回答数	%
よく知っている	3	1.7
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	68	38.0
知らない	108	60.3
合計	179	100.0



問2 次世代育成として行っている事業の中で知っている事業はどれですか。
(複数回答)

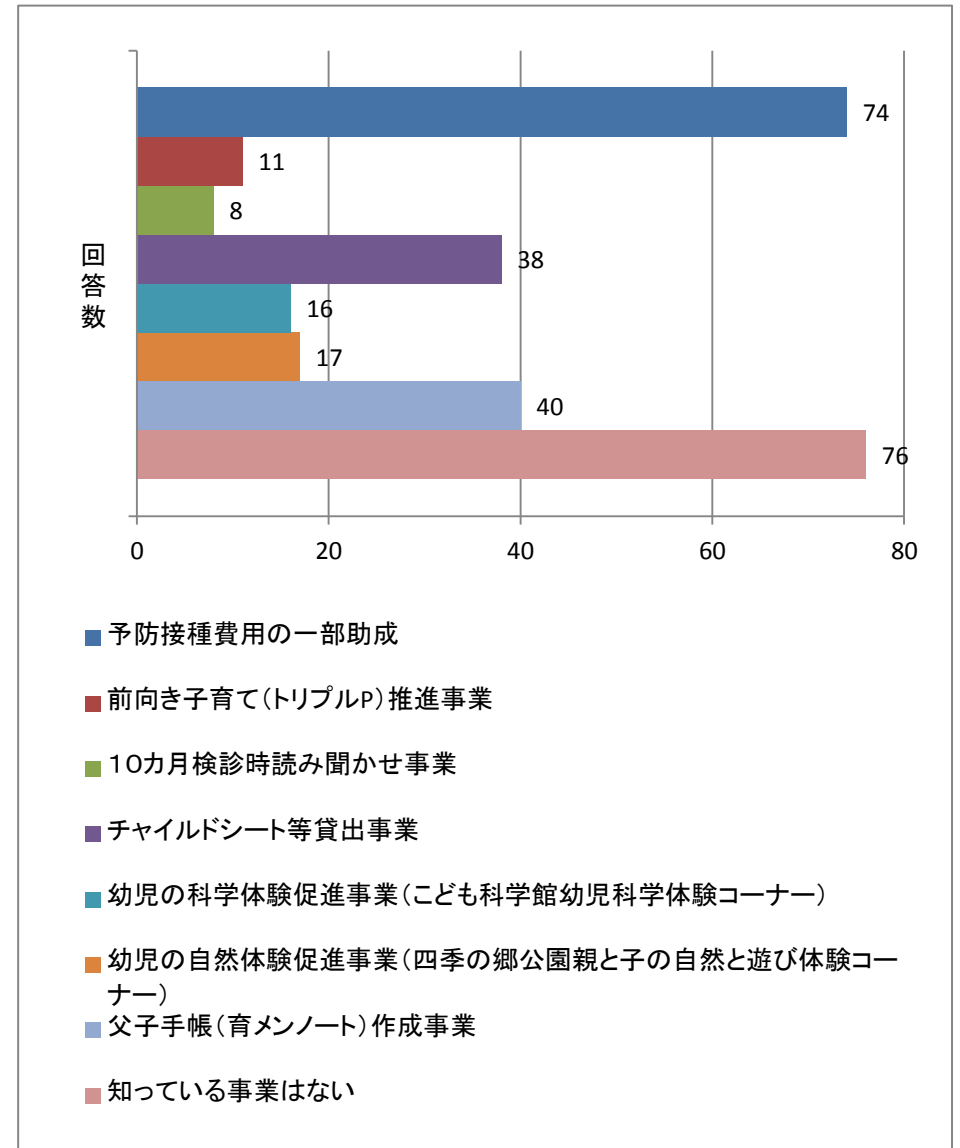
回答	回答数	%
通常保育事業	57	31.8
一時預かり保育事業	64	35.8
延長保育事業	50	27.9
トワイライトステイ事業	17	9.5
休日保育事業	19	10.6
病児・病後児保育事業	43	24.0
放課後児童健全育成事業(学童保育)	49	27.4
地域子育て支援センター事業	51	28.5
つどいの広場事業	27	15.1
ショートステイ事業	17	9.5
ファミリー・サポート・センター事業	54	30.2
知っている事業はない	65	36.3



問3 次世代育成のための新たな取組として和歌山市が実施している事業の中で知っている事業はどれですか。

(複数回答)

回答	回答数	%
予防接種費用の一部助成	74	41.34
前向き子育て(トリプルP)推進事業	11	6.15
10カ月検診時読み聞かせ事業	8	4.47
チャイルドシート等貸出事業	38	21.23
幼児の科学体験促進事業(こども科学館幼児科学体験コーナー)	16	8.94
幼児の自然体験促進事業(四季の郷公園親と子の自然と遊び体験コーナー)	17	9.5
父子手帳(育メンノート)作成事業	40	22.35
知っている事業はない	76	42.46

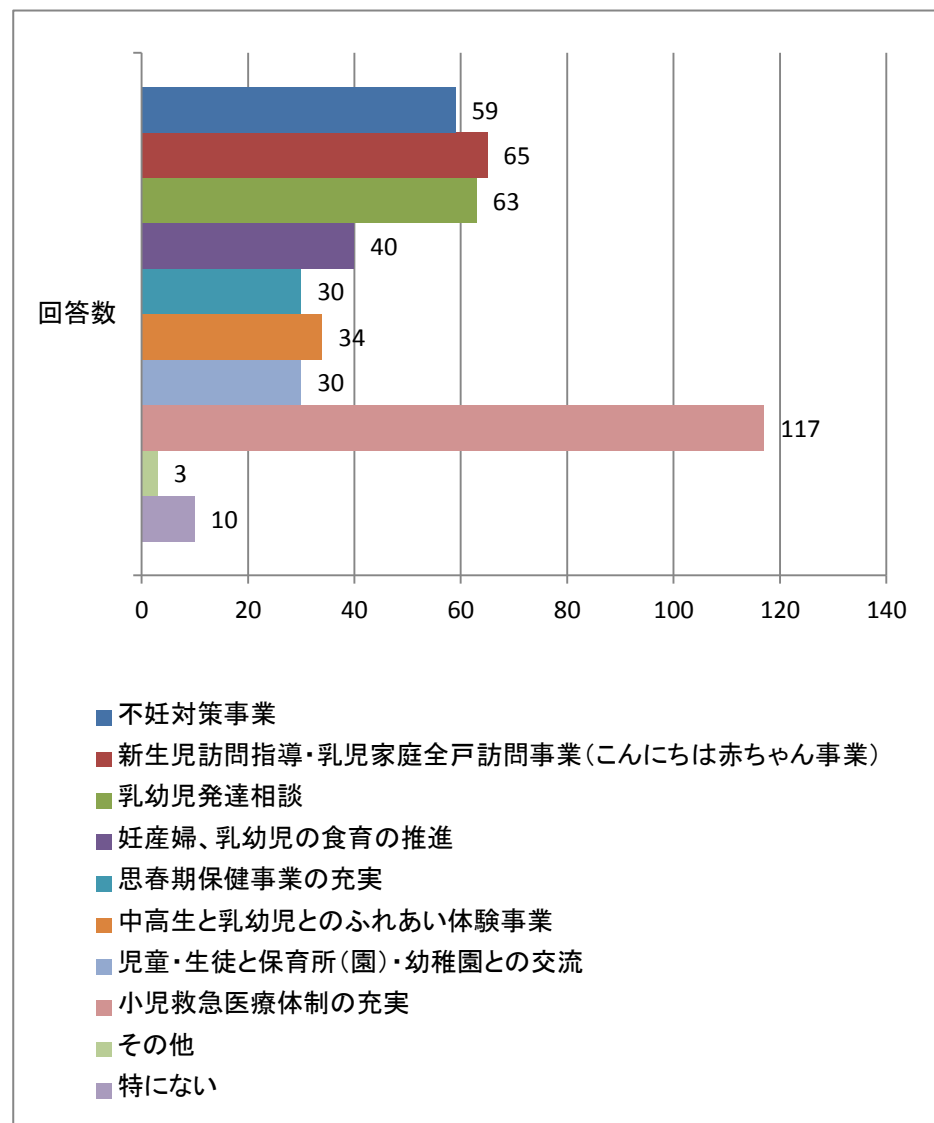


問4 母と子の健康づくり支援について、次の施策のうち最も重要だと思うものを3つまで選んでください。

回答	回答数	%
不妊対策事業	59	33.0
新生児訪問指導・乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)	65	36.3
乳幼児発達相談	63	35.2
妊産婦、乳幼児の食育の推進	40	22.4
思春期保健事業の充実	30	16.8
中高生と乳幼児とのふれあい体験事業	34	19.0
児童・生徒と保育所(園)・幼稚園との交流	30	16.8
小児救急医療体制の充実	117	65.4
その他	3	1.7
特になし	10	5.6

問4-1 問4で「その他」とお答えいただいた方は、具体的にご記入ください。

・老人福祉の一環として、あるいは児童預かりの場などでの定年退職老人との触れ合い、老人を活用。
 ・新規事業ではなく、各地で行われている親子教室の案内を市報にもっと載せていってもいいと思う。
 ・家族の絆を深める取り組みや 夫婦の信頼関係を深め合う取り組みが基本だと思います。例えば、夫婦や家族が協力して作る畑とか 和歌山は海や川が近いので釣りの施設とかがあれば良いかと思います。また、そこで採れた物を販売できる施設があれば、循環するのでさらに良いと思います。最初の1年目はモデル家庭を応募して、半年から1年かけて取材しながら放映する。それから反響の大きいものを順に拡大していくといいと思います。

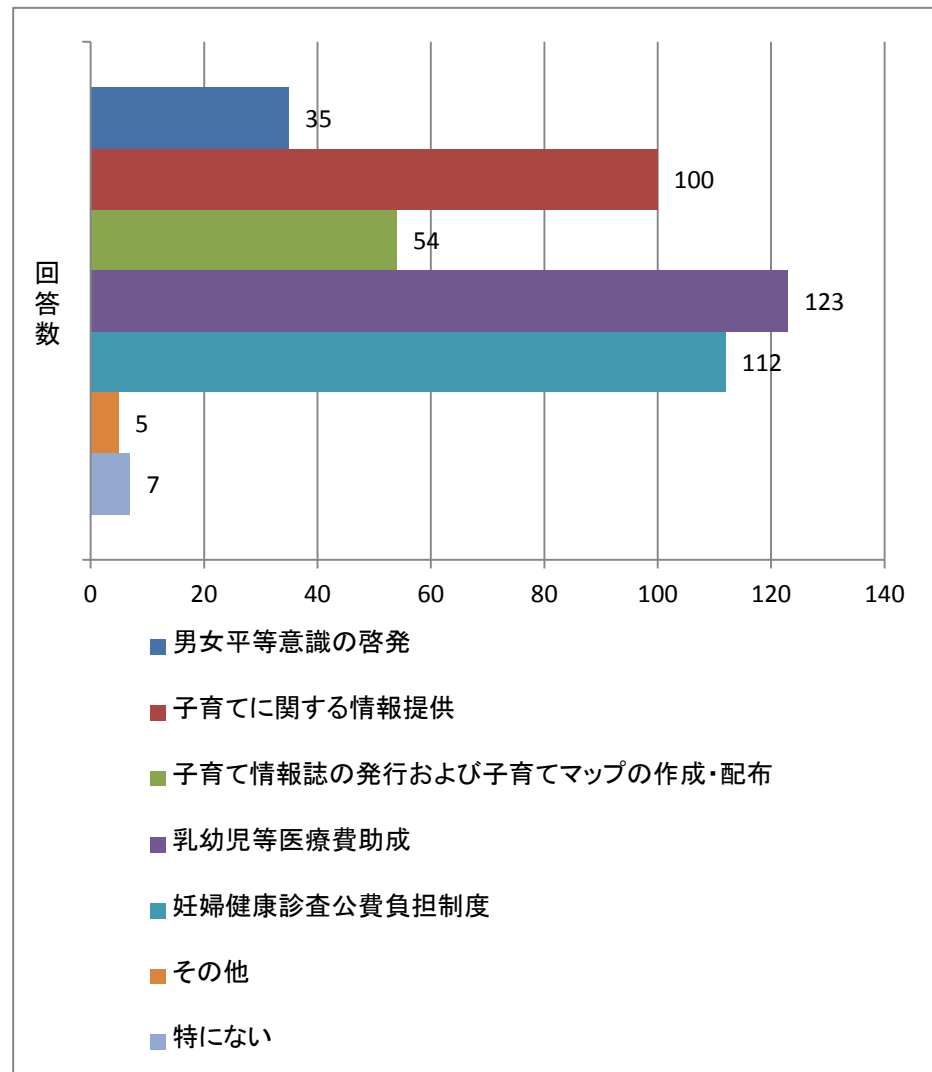


問5 子育てに係る意識の啓発並びに情報提供の充実について、次の施策のうち最も重要であると思うものを3つまで選んでください。

回答	回答数	%
男女平等意識の啓発	35	19.6
子育てに関する情報提供	100	55.9
子育て情報誌の発行および子育てマップの作成・配布	54	30.2
乳幼児等医療費助成	123	68.7
妊婦健康診査公費負担制度	112	62.6
その他	5	2.8
特になし	7	3.9

問5-1 問5で「その他」とお答えいただいた方は、具体的にご記入ください。

・身体障害児の情報提供
 ・地域老人からの情報活用
 ・子育て世代の勤務時間の軽減(教員や公務員が夕方早く帰るようにして社会全体で実施して欲しい)
 ・子育ての情報や支援活動として殆どが乳幼児対象で、小学生以上になると相談やコミュニティーが計れる場所や情報が一気に少なくなってしまう。思春期の子どもを持つ親の悩みも多いと思います。
 ・子どもは家族で育てるものと思います。それで、親の親(おじいちゃんや、おばあちゃん)のような人が近くにいる、困った事や相談したいことを気軽に話せる場があれば助かります。

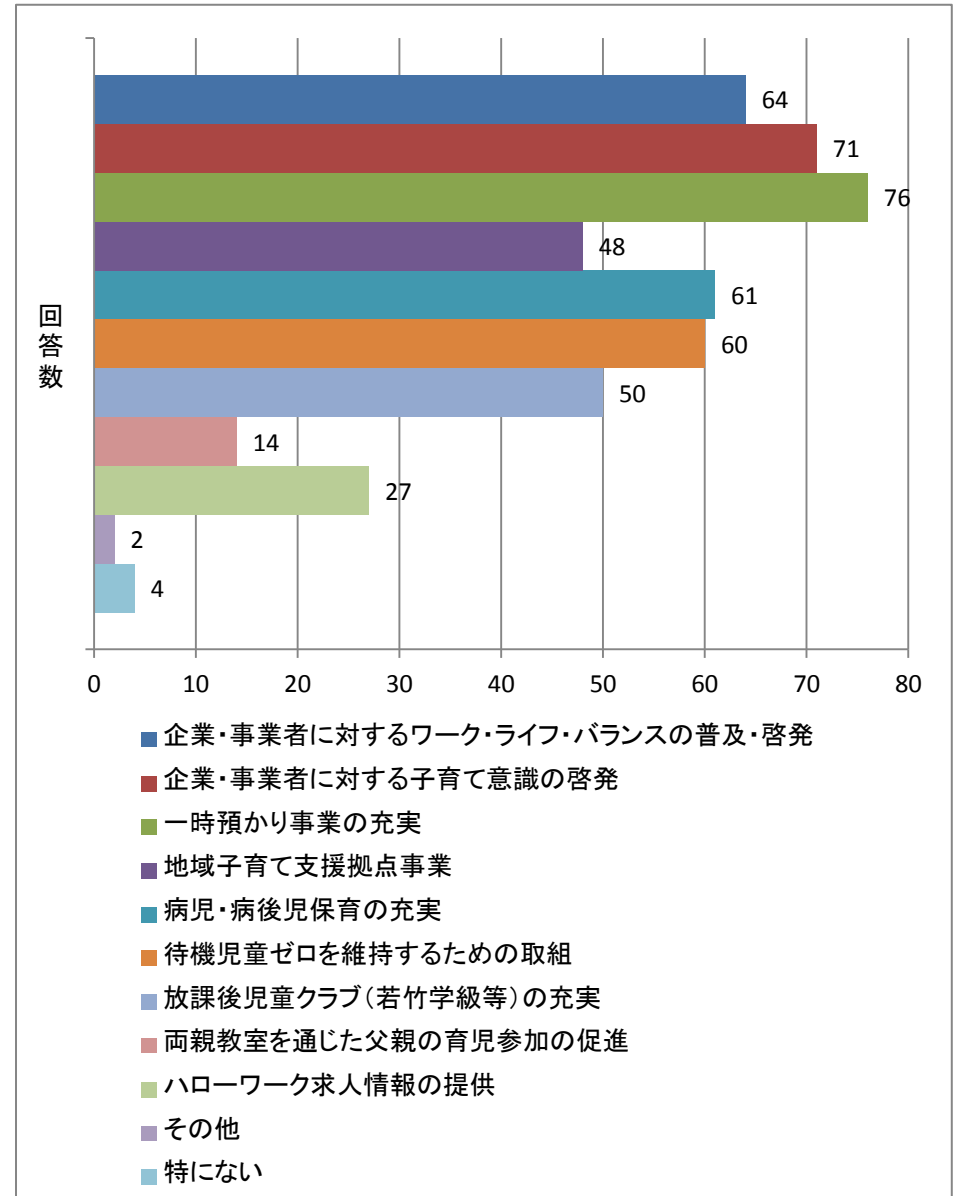


問6 子育てと仕事の両立支援について、次の施策のうち最も重要であると思うものを3つまで選んでください。

回答	回答数	%
企業・事業者に対するワーク・ライフ・バランスの普及・啓発	64	35.8
企業・事業者に対する子育て意識の啓発	71	39.7
一時預かり事業の充実	76	42.5
地域子育て支援拠点事業	48	26.8
病児・病後児保育の充実	61	34.1
待機児童ゼロを維持するための取組	60	33.5
放課後児童クラブ(若竹学級等)の充実	50	27.9
両親教室を通じた父親の育児参加の促進	14	7.8
ハローワーク求人情報の提供	27	15.1
その他	2	1.1
特にない	4	2.2

問6-1 問6で「その他」とお答えいただいた方は、具体的にご記入ください。

- ・遠隔からの転勤世帯に対する、二世帯住宅の拡充・優遇措置。祖父母の手を借りることに勝る公的支援は難しいと思う。
- ・3世帯同居世帯が住みやすい町づくり

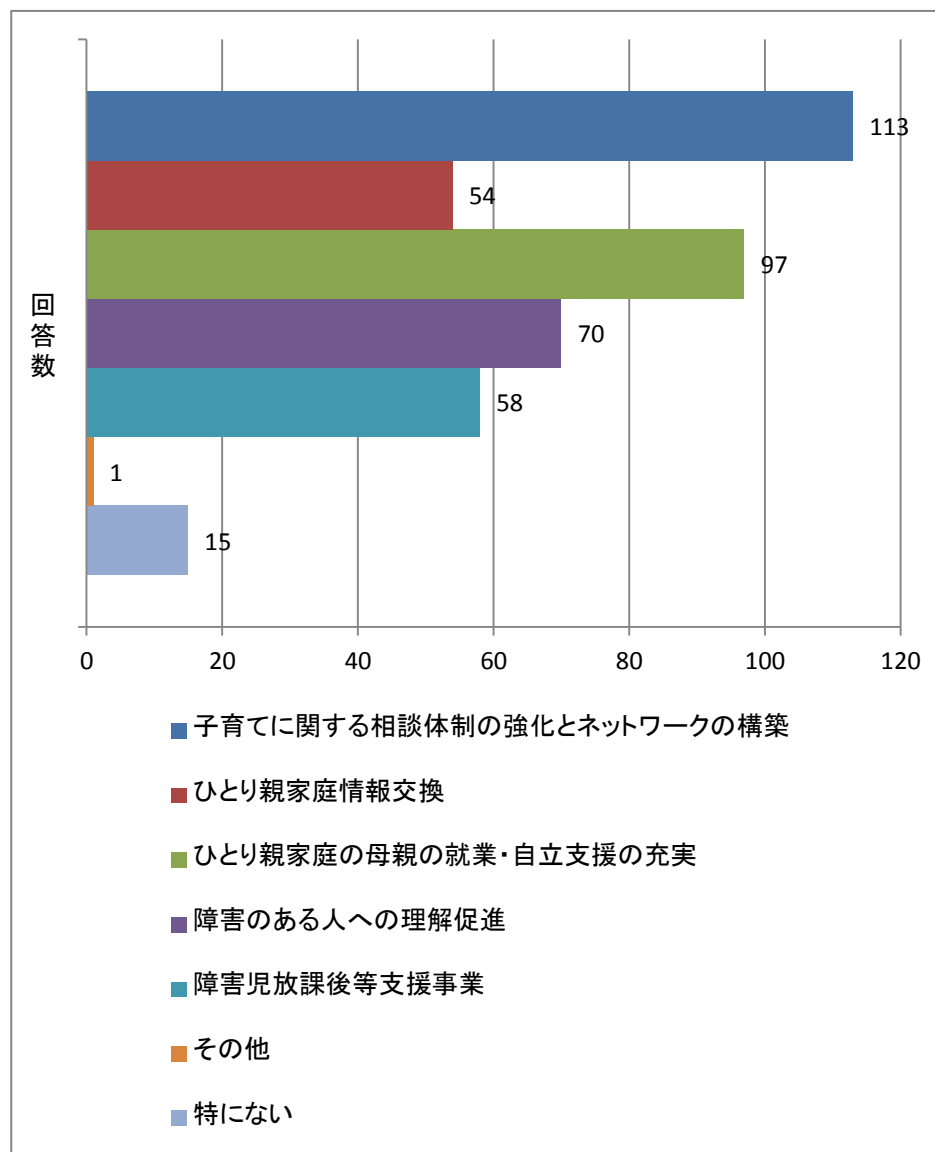


問7 心身を健やかに育む子育て環境の充実について、次の施策のうち最も重要であると思うものを3つまで選んでください。

回答	回答数	%
子育てに関する相談体制の強化とネットワークの構築	113	63.1
ひとり親家庭情報交換	54	30.2
ひとり親家庭の母親の就業・自立支援の充実	97	54.2
障害のある人への理解促進	70	39.1
障害児放課後等支援事業	58	32.4
その他	1	0.6
特にない	15	8.4

問7-1 問7で「その他」とお答えいただいた方は、詳しくご記入ください。

・家庭の基本単位は夫婦なので夫婦の信頼関係を改善する取り組みが重要と思います。

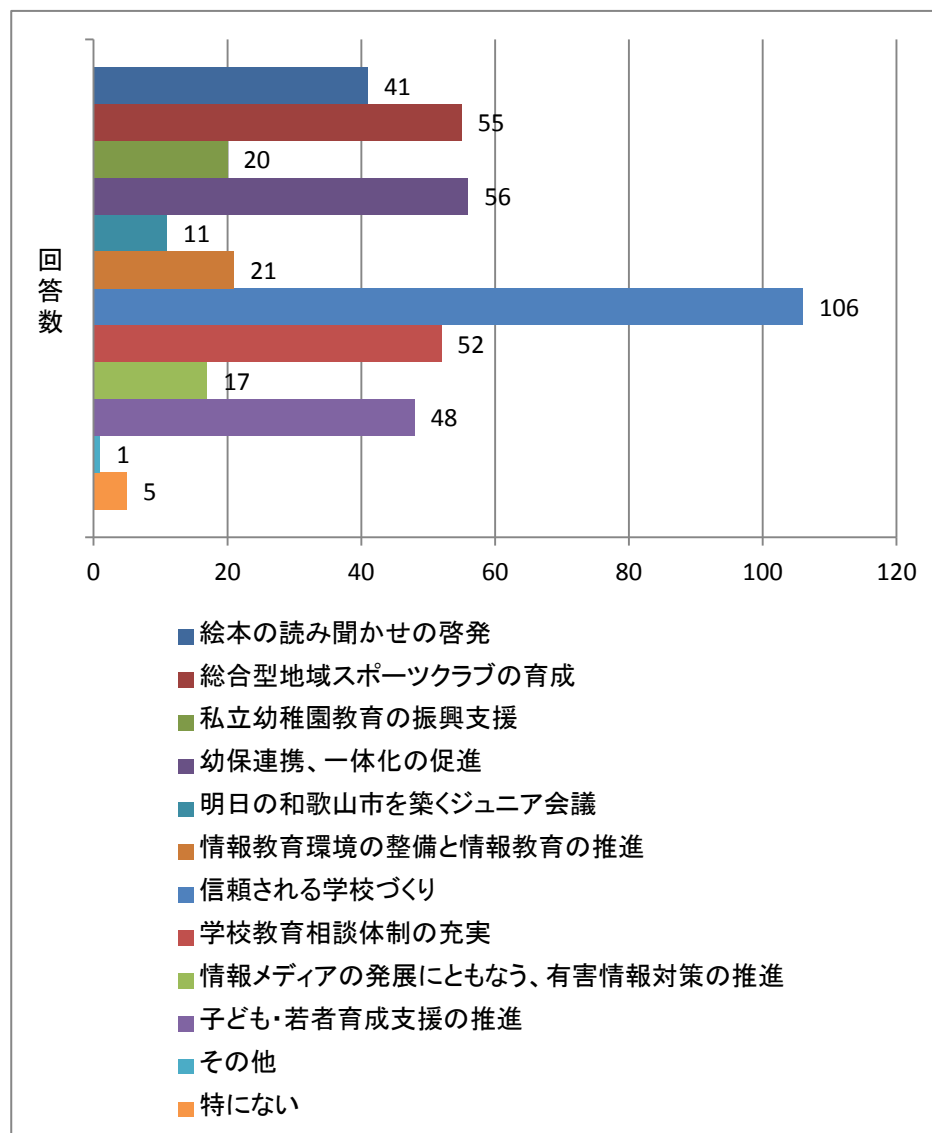


問8 心豊かな子どもの育ちを支える教育環境の充実について、次の施策のうち最も重要であると思うものを3つまで選んでください。

回答	回答数	%
絵本の読み聞かせの啓発	41	22.9
総合型地域スポーツクラブの育成	55	30.7
私立幼稚園教育の振興支援	20	11.2
幼保連携、一体化の促進	56	31.3
明日の和歌山市を築くジュニア会議	11	6.2
情報教育環境の整備と情報教育の推進	21	11.7
信頼される学校づくり	106	59.2
学校教育相談体制の充実	52	29.1
情報メディアの発展にともなう、有害情報対策の推進	17	9.5
子ども・若者育成支援の推進	48	26.8
その他	1	0.6
特にない	5	2.8

問8-1 問8で「その他」とお答えいただいた方は、詳しくご記入ください。

・24時間営業しているコンビニエンスストアで販売している有害な雑誌の撤去と販売防止条例の策定

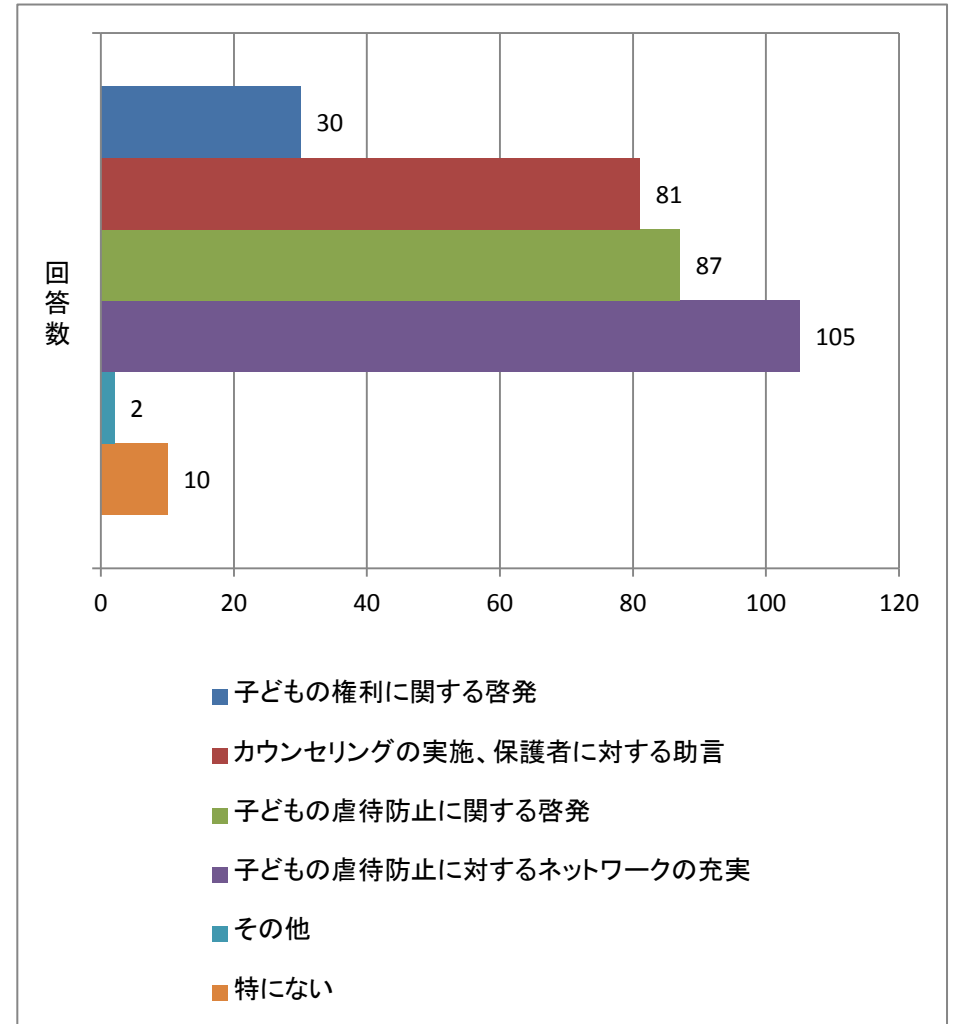


問9 子どもの人権擁護の推進について、次の施策のうち最も重要であると思うものを2つまで選んでください。

回答	回答数	%
子どもの権利に関する啓発	30	16.8
カウンセリングの実施、保護者に対する助言	81	45.3
子どもの虐待防止に関する啓発	87	48.6
子どもの虐待防止に対するネットワークの充実	105	58.7
その他	2	1.1
特にない	10	5.6

問9-1 問9で「その他」とお答えいただいた方は、具体的にご記入ください。

・子どもの虐待防止に対するネットワークの充実として、地域で活動している総合型地域スポーツクラブを活用すべきだと思う。
 ・仲の良い夫婦は、子どもの人権という言葉自体が不要な言葉と思います。どのようにしたら夫婦がお互いを大事に思えるか。

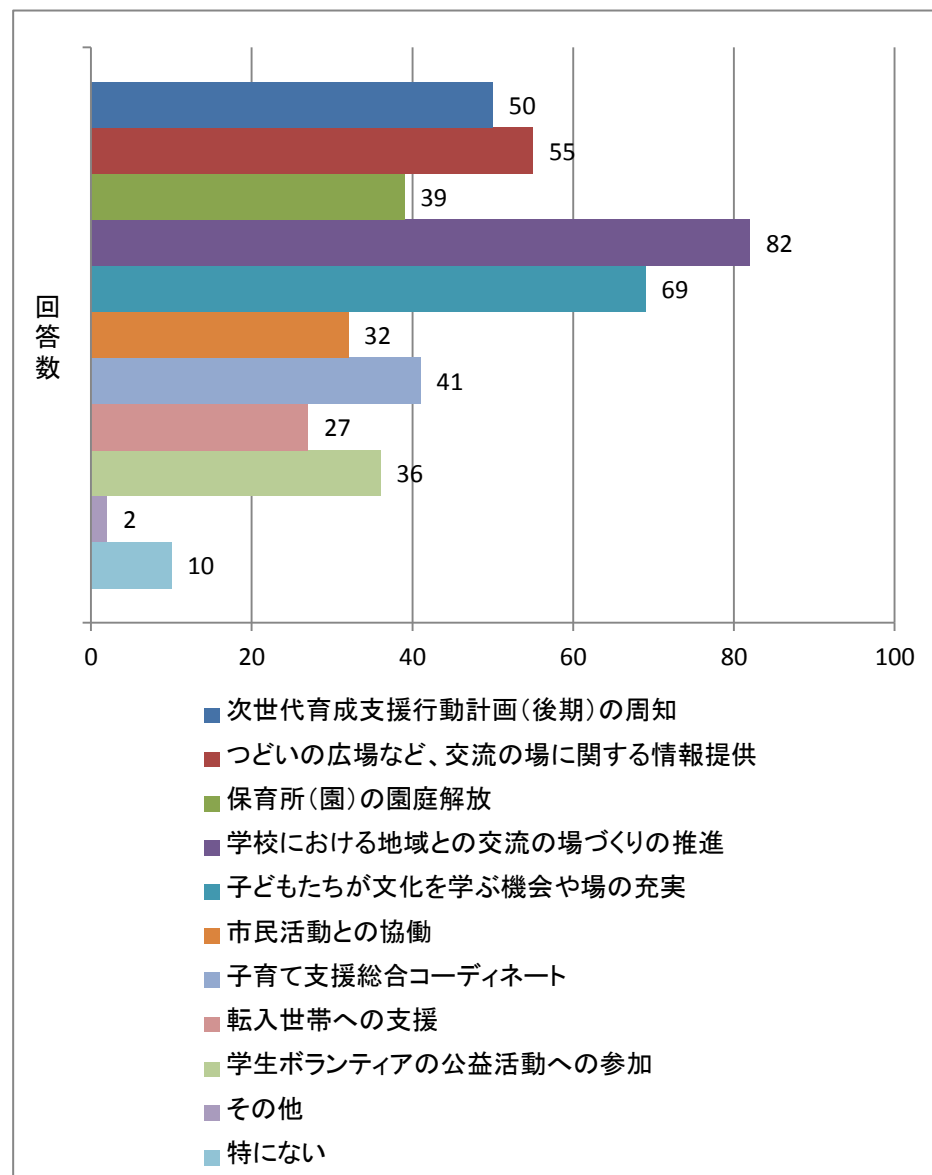


問10 地域における子育て支援の推進について、次の施策のうち最も重要であると思うものを3つまで選んでください。

回答	回答数	%
次世代育成支援行動計画(後期)の周知	50	27.9
つどいの広場など、交流の場に関する情報提供	55	30.7
保育所(園)の園庭解放	39	21.8
学校における地域との交流の場づくりの推進	82	45.8
子どもたちが文化を学ぶ機会や場の充実	69	38.6
市民活動との協働	32	17.9
子育て支援総合コーディネート	41	22.9
転入世帯への支援	27	15.1
学生ボランティアの公益活動への参加	36	20.1
その他	2	1.1
特にない	10	5.6

問10-1 問10で「その他」とお答えいただいた方は、具体的にご記入ください。

- ・学校と地域との連携に総合型地域スポーツクラブが行っている事業を利用すれば、直接行政担当者が現場に出ることが減り有効活用できると考える。
- ・社会人や主婦のボランティア活動の支援

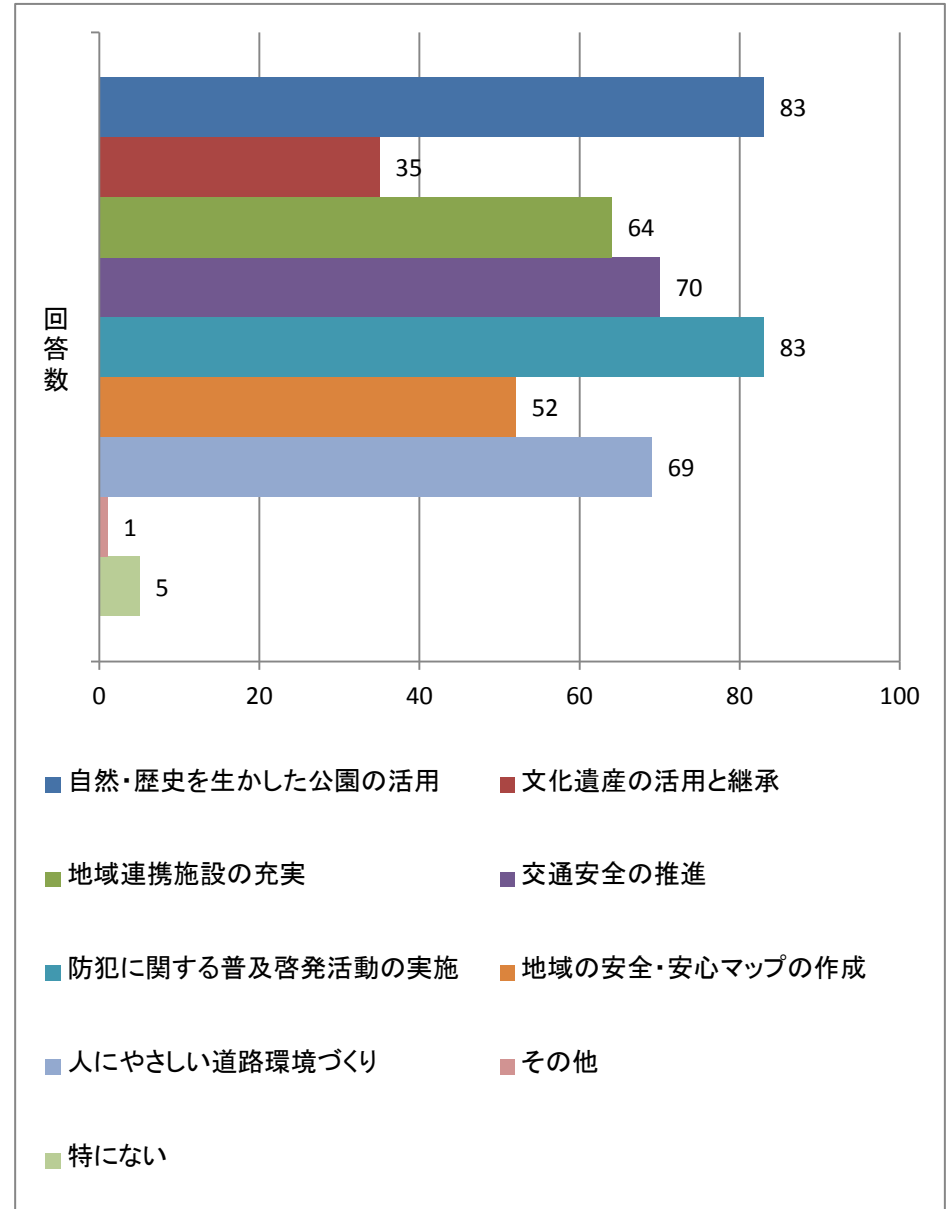


問11 子育てを支援する生活環境の整備について、次の施策のうち最も重要であると思うものを3つまで選んでください。

回答	回答数	%
自然・歴史を生かした公園の活用	83	46.4
文化遺産の活用と継承	35	19.6
地域連携施設の充実	64	35.8
交通安全の推進	70	39.1
防犯に関する普及啓発活動の実施	83	46.4
地域の安全・安心マップの作成	52	29.1
人にやさしい道路環境づくり	69	38.6
その他	1	0.6
特にない	5	2.8

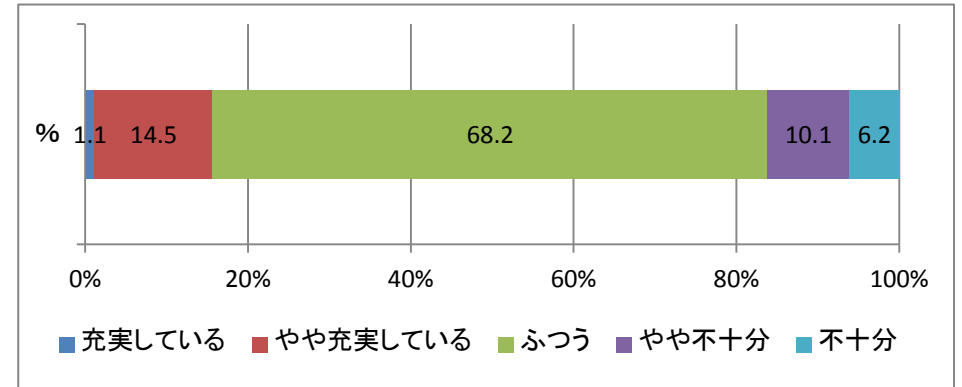
問11-1 問11で「その他」とお答えいただいた方は、具体的にご記入ください。

・倫理、しつけ教育



問12 和歌山市の子育て環境は充実していると思いますか。

回答	回答数	%
充実している	2	1.1
やや充実している	26	14.5
ふつう	122	68.2
やや不十分	18	10.1
不十分	11	6.2
合計	179	100.0



問12-1 問12で「やや不十分」「不十分」を選んだ方は、その理由をご記入ください。

※主な意見を掲載しています(個人情報や固有名詞を除いて、原文に近い文章で掲載しています。)

- ・小学校の放課後校庭開放を希望します。
- ・乳幼児を抱えている保護者が一時保育を希望していても、受け入れ先はその後の入園に結びつく人しか受け入れしない。
- ・近隣の市町村と比較しても、子どもの医療費補助がない。少なくとも中学生までは医療費の補助を必要としている市町村が多く、子どもの健やかな成長を考える上で食と医療は最も重要だと言える。
- ・運転の荒い方が多すぎて保育所の送り迎えが怖い。事故にまきこまれそうです。
- ・買い物に行った時、子どもが遊んで待っている場所がある店がほとんどない。
- ・子どもをたくさん産み育てたいと思える環境になっていない。
- ・夫婦共働きでも経済的に不安があり、地域とのコミュニケーションがないため(とろうとしない)、誰にも相談できず、行政も資金不足で手が回らない。少子化対策として、幼稚園や保育園の費用負担ができないだろうか？
- ・市民に十分浸透しているか。
- ・学童保育の時間が仕事をしている親の時間に合っていない。
- ・学校の登校中での事故や事件で子どもが通う道のりが心配になり教育委員会や小学校に相談しましたが回答を得られず、自治会に話しても難しいと言われ、毎朝送るという方法しか現段階では思い当たりません。和歌山市も他の県と一緒に大事にならないと見直してはくれないのかなと思い、子育てしている家族には不安だと思います。大きな事故や事件になる前に手をうてるようもう少し市民に耳を傾けて欲しいです。
- ・具体的な活動が見えない。
- ・子育てに必要な集合の場が少なく充実していない。
- ・子どもの預かりをしてくれる保育園などが満員で入れないと言う事をよく聞きます。また、情報がよく分からない状況にあるので、子どもが生まれる家庭に分かりやすい補助を書いた冊子などをくれるとうれしいです。チャイルドシートの無料貸し出しなど、初めて知りました。
- ・学校給食(中学校)の未整備
- ・子連れで行ける場所が限定されている。公的施設より個人事業者の方が意識が強くサービスが充実しているように感じる。
- ・子どもを増やそうと言っているのに、子どもが1人しかいてない家庭と子どもが3人いる家庭とで、優遇制度があまり変わらない。
- ・保育所・幼稚園等の施設が不十分。若い人が安心して子どもを産み育てる環境が整っていない、仕事、給与体系、年金将来に希望を持てる街ではない。

- ・通学路の安全が十分に確保されていない地域がある。
- ・放課後、子どもが遊ぶことのできる公園や広場等の確保が不十分。
- ・虐待されている児童に対する、通報等への対応が不十分。
- ・乳幼児に対する活動は、積極的に行われているが、幼稚園児が活動できる公園が少ない(ほとんどない)。公園整備が不十分で自由に遊ばすことができない。またハードだけでなく、子どもたちを楽しませてやれるような幼児あそびをコーディネートできるキッズインストラクターが不足しており、昔のように小学生が幼稚園児と一緒に遊べる環境をセッティングしていく必要があると思う。
- ・若竹学級も学校内にはありますが、管轄が違うため孤立化している。各こども会の活動も一律化していないために、組織や活動内容にばらつきがある。
- ・病児保育(0歳児)の定員が4人というのはどう考えても少なすぎる
- ・教育者のレベルが低い
- ・保育園の園庭が広い所がほとんどない
- ・子ども連れ可の店が少ない。
- ・ベビーカーで散歩をしようにも、道路が整備されていない。

問13 「次世代育成支援行動計画」について、ご意見等ありましたら、ご記入ください。

※主な意見を掲載しています(個人情報や固有名詞を除いて、原文に近い文章で掲載しています。)

- ・乳幼児を一時的に預かる場所をもっと必要だと思います。他府県から来られた人は、身近に子どもを見てもらえる人がいないので、そういった方にも安心して子育てできる環境が必要です。自治会館や公民館や学校の空部屋を利用して 定年退職された方や時間のある大人が勉強や文化などいろんなことを教えてくれる場所を作ることによっておじいちゃんやおばあちゃんがない子どもは尊敬やいたわる気持ちを学ぶだろうし、異年齢の子どもが集まることで社会でやっていく大切さの基礎を学ぶことができると思います。親の気持ちとしては息抜きをする場所、社会全体で子どもを見守ることが一番希望することです。
- ・この様なよい事業提案も一過性で終わらない様に 予算、人材の継続が望ましいと思います。
- ・地区、地域へ外から入った場合、地元とよそ者の交流が難しいので、其の辺、子供は、欠かせない。こういうのも育成に加えて欲しい。
- ・交通安全運動にもっと取り組んでください。
- ・スーパーなどで、小さい子供を見てくれる施設があれば、ゆっくり買い物できると思います。
- ・日曜日に子どもを遊ばせる場所が欲しい。
- ・事業計画があっても、日頃情報を得る機会があまりないように思う。
- ・少子化により昔の半分しか児童はいない。ならば高校卒業まで無料化すべきである。小学校に入るまでの保育費が高すぎる。
- ・告知方法を考えてもらえたらいいなと思います。
- ・実際に子育て中の人の意見をたくさん取り入れてより良いものにしていって下さい。
- ・犯罪のない街、医療の充実した街を作れば、自ずと若い人の人口が増えると思います。
- ・ひとり親家庭の母親の自立支援を強化して頂きたいです。和歌山市は就労の場が少ない上に、勤務形態等を考えると子供か収入かどちらか一方を選ばないといけなような状況です。
- ・いろいろな制度が必要であり、考え直さなくてはならない問題等があると思います。次世代の人達が安心して育っていけるよう、和歌山市の子育て環境を今よりよくしてほしいです。
- ・子どもと老人を一体的に把握する。放課後の小学校などで老人会を運営する。
- ・公共の施設で子育ての支援ができることが一番だと思います。
- ・子どもをしっかり育てたいと間をあげて産むと、行政からの援助(私立幼稚園や保育所の金銭的補助など)が減ると聞きます。制度がかややこしく、親としては二人目は二人目としてきちんと評価して扱って欲しいと思います。

- ・一定の年齢の子供のある家庭に対して、もっと個別な情報を作ってほしい。パソコン上でもいいので、登録できるもので、無料で相談に乗ってもらえるものや情報提供、家にいても情報が入るような和歌山のサイトを作ってほしい。
- ・計画の名前に、もっと親しみやすいネーミング（愛称でもいいが）をつけるなどして市民にアピールしていく必要があるのではないか。
- ・子育て世代ばかりが優遇されすぎているように思う。頻繁に変更せず永年的にできるものに絞って決めて欲しい（所得制限が固定された状態での医療費の無償化等）
- ・子どもや孫と同居してない世帯にも参加しやすい環境にしてほしい。
- ・虐待、いじめ等子育てには超えなければならない山がたくさんあります。行政として種々の施策を実施されていますが、施策毎の効果を把握し、施策の評価をしながら、グレードを上げるための工夫が必要ではないかと思えます。
- ・次世代育成のための周知活動をすることで、女性にとって子供を生みたいと思える地域をアピールできると思うので、こうした活動が幅広くTVやラジオで発信できることも大切だと思います。
- ・若者に対する家庭教育の充実、将来に希望が持てる市としてのビジョンを持つ。市民への説明と実践。
- ・不妊治療にもっと助成がほしい。
- ・今の学生には自分の時間が少なすぎる。これではストレスで自発的にやる気が低下すると思えます。
- ・小学校や中学校からは学級崩壊やいじめなど不安なことばかりが耳に入るので小学校に入るのにとっても不安を感じている。もちろん学校側だけが悪いのではなく、一番身近にいる親が正しいありかたをもっと子供に伝えてあげることが必要だと感じている。保護者がすべてそうあって欲しいです。
- ・子どもは、家庭や地域の大人の行動を手本にしている。次世代の子どものことを考えると家庭や地域で大人は、緊張感を持って行動しなければならない。
- ・次世代育成支援計画で総合型地域スポーツクラブの育成があるが、担当部署との連携をもっと図って欲しい。
- ・子育て世代の意識啓発がもっと大切だと思います。核家族化が進み、なかなか他人の子供まで意識が持てない中、学校教育も個人情報ばかりを重要視して、求める者には、あたえられているが、取り残されている子供もたくさんいる感じがします。
- ・教師に多方面にわたり負担が大きいと思えます。専門分野の非常勤等を雇用すれば、雇用促進にもなるし、子供たちもより多くの知識を得られると思えます。
- ・次世代育成支援行動計画の実体がよく見えない。
- ・自治会との連携活動の必要
- ・子育ての環境は、以前に比べよくなっていると思うが、現場重視でなく、机上論的である。
- ・子育て支援は地域の大切な課題だと思います。中途半端なものではなく、子どもを授かったら、和歌山市へ引っ越して、子育てをしたい！と思ってもらえるほど、充実させてください。
- ・計画自体あまり知らないのも、もっと市民への分かりやすい情報提供が必要ではないか
- ・保育者のかずを増やして欲しい
- ・児童館のような、いつ行っても良い、無料で利用できる施設が各地区にあると良いと思えます。現状は、キッズステーションや子育て支援センターなどだと思いますが、なんとなく利用しづらい。
- ・子供・親、だけでなく学校や教育者の事も考えていかないと、次世代を担う子供をもつ現役の親がしんどくなる。責任が全て親のせいになり、子供の数だけ悩みも多くなるので親ばかりに押し付けしないでほしい。
- ・「子供たちが文化を学ぶ機会や場の充実」の一環として、日曜・祝日に於ける学校図書室の開放と絵本の読み聞かせを推進して頂きたい。
- ・学習支援ボランティアのようなものがあれば、参加したいと考えています。
- ・延長保育事業に関して、延長保育時間を長くしていただきたいです。
- ・医療費を乳幼児だけでなく、高校生まで無料にしてほしい。